

環境マネジメントシステムの推進

荒川化学グループでは、「環境保安基本方針」および「環境保安行動指針」をもとに、各事業所で計画を立て、環境に配慮した活動を実施しています。

■環境保安推進体制

環境保安委員会は、保安担当役員を委員長に、実施責任者である関連部門長（品質環境保安室長、総務部長、研究所長、生産統轄部長、大阪工場長、富士工場長、水島工場長、小名浜工場長、水島工場品質環境保安課長）をメンバーとして年1回の定例会議を開催し、2006年度からは社長も出席しています。

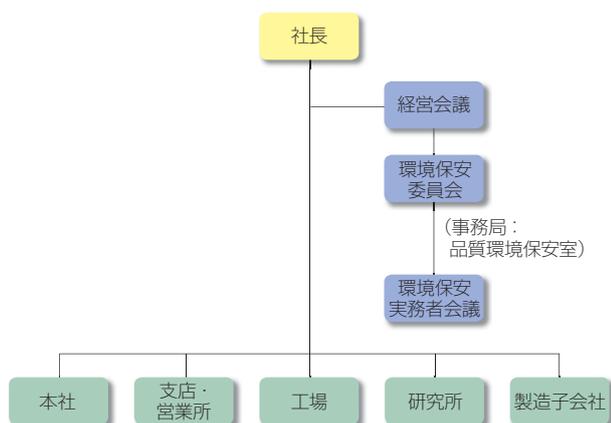
この定例会議では、前年度の活動実績報告および当年度の環境保安年度計画を審議しています。

また、環境保安委員会の下部組織として、各部門の実務者からなる環境保安実務者会議を設置し、具体的な問題を解決していく活動を続けています。2007年度は、省エネルギーをテーマに取り上げました。

ISO 14001 取得事業所（主力4工場とペルノックス）ではEMP（環境マネジメントプログラム）を取り入れて改善を実施しています。その他、小規模工場および営業所などは、実施しやすい荒川化学独自の環境マネジメントシステムを構築し、推進していくことを計画しています。なお高压化学は、エコアクション21^{※1}の取得活動中です。

※1 エコアクション21：中小企業などでも容易に取り組める環境経営システムで、環境省が策定したガイドラインに基づく認証・登録制度です。環境パフォーマンスの向上を目指した取り組みが特徴です。

■環境保安推進体制図



■ISO14001 認証取得状況

荒川化学の大阪・富士・水島・小名浜の主力4工場とペルノックスは、環境管理の国際規格であるISO 14001の認証取得をしています。2007年度は、水島工場、小名浜工場、大阪工場は更新審査を、ペルノックスは新本社への統合審査を、富士工場は維持審査を受審し、それぞれ合格しました。

■審査状況

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
水島工場	JQA-EM0369	1999年3月12日	2008年 1月23-25日
富士工場	JQA-EM1427	2001年3月16日	2008年 2月13-15日
小名浜工場	JQA-EM1577	2001年5月18日	2007年 4月16-17日
大阪工場	JQA-EM1590	2001年5月25日	2007年 3月 6- 9日
ペルノックス	JQA-EM3719	2004年1月30日	2007年12月18-19日

※審査登録機関は、すべて(財)日本品質保証機構です。
※大阪工場は、研究所、研究工場を含んでいます。

■環境保安監査

荒川化学グループでは環境保安管理規定に基づき、品質環境保安室が毎年、本社、全工場、研究所および国内連結製造子会社の監査を実施しています。これは環境保全、災害・事故の発生防止、労働災害の撲滅、労働安全衛生の維持向上、取扱う化学品などの環境・健康に対する安全性の確保についての取り組み状況を監査することにより、環境保安に関する諸施策あるいは保安管理活動の実施状況の問題点を把握し、改善に関する命令・勧告・助言を行い、問題点を改善することを目的としています。

2007年度は、「環境保安監査チェック表」を、2006年度に続いて、できるだけ定量的に監査できるように改定を行って実施し、一定の効果をあげることができました。

2008年度は、環境および安全に関するリスクマネジメントを実施し、それに沿った監査を予定しています。従来のチェック方式では、重要なリスクに対する監査がなされていない可能性があるため、今後は、各部門で実施されるリスクマネジメントの状況を監査できるようにしていきます。